

臨床研究に関する情報公開について

研究課題名	肺悪性腫瘍臨床検体を対象とした、多遺伝子変異検査システムMINtSと他種遺伝子変異検査との結果一致率を検索する後ろ向き観察研究（NEJ021D 試験）
研究機関の名称	自治医科大学内科学講座呼吸器内科学部門
研究代表者の氏名	萩原弘一
研究対象	2015年1月1日以降に本院呼吸器内科において組織診または細胞診で、肺悪性腫瘍の診断が確定した20歳以上の症例で、遺伝子変異検査が可能な残余検体のある症例を対象とします。
研究の目的・意義	<p>現在、本院を主管とした先進医療A「高感度多遺伝子検査システムMINtSによる、細胞診検体を用いた肺癌druggable遺伝子変異検索」が行われています。この先進医療では、最終的に遺伝子検査システムMINtSの薬事承認と保険収載を目指しています。本研究の販売主体となる栄研化学株式会社は、薬事承認に必要なデータに関し、PMDAと薬事相談を行っており、自治医科大学（研究代表者）本研究の主管事務局である特定非営利活動法人北東日本研究機構（North East Japan Study Group: NEJSG）と栄研化学株式会社は、産学民協同で、それぞれの立場からシステムの改善に努めています。本研究では、MINtSの信頼性を評価するため、先進医療の参加機関に保存されている既存検体を用いてこれから承認を得るMINtSと既に承認が得られているコンパニオン診断薬（治療前に、その治療薬が患者さんにとって効果があるかどうかを調べるために使う診断薬のことです）との結果一致率を調べます。</p> <p>この研究で、少量の検体から複数の遺伝子検査を行えることがわかれば、十分な遺伝変異検査が行えず、治療機会を逃す患者様が減ることが期待出来ます。</p>
研究方法	<p>この研究は、多機関共同で行う後方視的研究であり、この研究の為に新たに収集する検体や情報はありません。患者様の診療録から以下に示す項目を抽出します。各機関から集められたデータを研究代表者である萩原弘一の責任のもと、集計と解析を行います。自治医科大学において共同研究機関から提出された（または受託会社にて作成された）患者さんの通常検体および凍結検体を栄研化学株式会社に輸送し、栄研化学株式会社にてMINtS検査を施行します。</p>
研究期間	年 月 日～2028年3月31日まで

受付番号：臨附 21-121

課題名：肺悪性腫瘍臨床検体を対象とした、多遺伝子変異検査システム MINtS と他種遺伝子変異検査との結果一致率を検索する後ろ向き観察研究(NEJ021D 試験)

No.	研究機関名	研究責任者	
		所属	氏名
1	独立行政法人地域医療推進機構北海道病院	呼吸器センター呼吸器内科	原田敏之
2	仙台厚生病院	呼吸器内科	中村 敦
3	富山大学附属病院	第一内科	猪又峰彦
4	宮城県立がんセンター	呼吸器内科	福原 達朗
5	香川大学医学部附属病院	呼吸器内科	金地伸拓
6	順天堂大学医学部附属順天堂医院	呼吸器内科	朝尾哲彦
7	新潟大学医歯学総合病院	呼吸器・感染症内科	渡部聡
8	聖路加国際病院	呼吸器内科	岡藤 浩平
9	市立札幌病院	呼吸器内科	本村 文宏
10	春日部市立医療センター	内科	木曾原朗
11	東北医科薬科大学病院	呼吸器内科	吉村成央
12	獨協医科大学病院	呼吸器・アレルギー内科	仁保 誠治
13	県立広島病院	呼吸器内科	石川 暢久
14	信州大学医学部附属病院	呼吸器・感染症・アレルギー内科	立石一成
15	埼玉県立がんセンター	呼吸器内科	大柳 文義

33	岩手医科大学附属病院	呼吸器内科	前門戸 任
34	総合病院国保旭中央病院	呼吸器内科	本田 亮一
35	新潟市民病院	呼吸器内科	阿部 徹哉
36	埼玉医科大学国際医療センター	呼吸器内科	山口 央

注) 倫理審査委員会から「承認」の結果が通知された後に、別途研究機関において許可を取得しなければ当該研計画書での実施をすることができないので注意すること。